

PCM

表面ゴムと圧縮層を直接融合させ、圧縮性を高めた商品です。
そのため、ベタの着肉性と紙離れにも優れます。

有限会社田安製本

頁物印刷から製本まで、自社一貫完備した軽オフセット印刷の生産設備をフルに生かし、専門業者として培われた技術で常に最高の品質を心掛けているという田安製本様にお話を伺いました。

社名 有限会社田安製本
代表者 田安 周平
創業 1984年1月

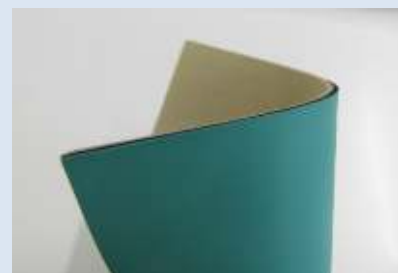
取扱い品目
頁物印刷から製本まで
(無線綴じ、中綴じ、平綴じ)
モノクロ小～中ロット冊子



『ベタの着肉性の向上を図りたくて・・・』

Q “PCM”ブランケットを採用された経緯を教えてください

A 当初機械メーカーより推奨品を使用していました。しかし、様々な用紙への安定したインキの転移性を確保することが難しく、悩んでおりました。またベタの着肉性及び耐久性の向上も図りたいと考え、それらの条件を満たすブランケットを探していたところ、取引業者から“PCM”の提案があり、使用し始めました。



『着肉性の向上に加え型残りも軽減！』

Q “PCM”の使用感、メリットはどんなところでしょうか？

A 最大のメリットはインキの着肉が良いことです。ラフな用紙にも丁度良いブランケットの硬度とゴム表面粗度による用紙へのインキの着肉が抜群です。また、様々な用紙サイズの印刷物を手掛けますので、型残りが少ないということもとても魅力的なブランケットだと思います。

Q 貴社の強み、PRポイント、これからの展開を教えてください。

A これからも、大きく背伸びをせずに、自社一貫完備した軽オフセット印刷の生産設備をフルに生かし、冊子印刷・製本の専門業者として培った技術で高品質の冊子を中心に、最高の品質をご提供してまいりたいと存じます。

